

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (小学校)

教科ごとの「教科の観点」における平均正答率の比較

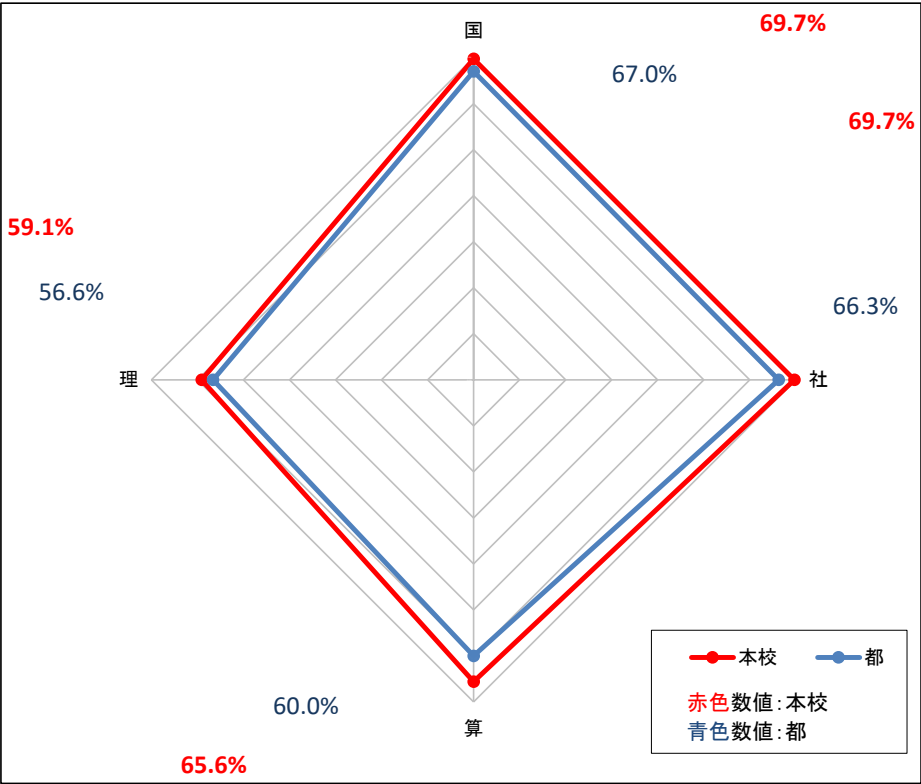
#N/A

国語	教科の観点				教科の合計
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
東京都	65.9%	70.9%	67.1%	65.9%	67.0%
本校	72.3%	80.9%	65.0%	68.1%	69.7%
都との差	6.4	10.0	-2.1	2.2	2.7

社会	教科の観点			教科の合計
	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 の技能	社会的事象について の知識・理解	
東京都	63.1%	66.5%	69.8%	66.3%
本校	65.5%	70.0%	74.5%	69.7%
都との差	2.4	3.5	4.7	3.4

算数	教科の観点			教科の合計
	数学的な考え方	数量や図形について の技能	数量や図形について の知識・理解	
東京都	46.4%	65.2%	67.8%	60.0%
本校	51.6%	73.4%	68.8%	65.6%
都との差	5.2	8.2	1.0	5.6

理科	教科の観点			教科の合計
	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象について の知識・理解	
東京都	52.9%	66.4%	55.0%	56.6%
本校	54.1%	66.5%	59.8%	59.1%
都との差	1.2	0.1	4.8	2.5



《都との比較にみる本校の状況》

【国語】書く能力は都の平均を大きく上回っているが、読む能力は都の平均を下回っている。

【社会】3観点ともに都の平均を上回っているが、社会的な思考・判断・表現は、3観点の中では最も都の平均値に近い。

【算数】3観点ともに都の平均を上回っているが、数量や図形についての知識・理解が都の平均程度である。

【理科】3観点ともに都の平均を上回っているが、観察・実験の技能は都の平均程度である。

《授業改善のポイント》

【国語】「読む能力」を高めるために音読を重視し、目で見ても文章や言葉を声で発し、発した言葉を耳で聞く活動を意図的に取り入れ、語彙力を高める。文章の読解力を高めるためには、文章を要約する活動を繰り返し行う。

【社会】社会的な事象を、一方向からではなく多面的に捉える活動を意図的・計画的に取り入れ、社会的思考・判断・表現の力を伸ばす。

【算数】算数的活動を工夫し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、児童用ホワイトボードのさらなる活用を進め、知識・技能の定着を目指す。

【理科】目的や視点を明確にして観察・実験を行い、結果を考察する活動に取り組む。

《家庭・地域への働きかけ》

【国語】「読む能力」を高めるため、家庭学習における「音読」を、低学年を中心に繰り返し行うよう協力を求める。中学年や高学年は、家庭での読書量を増やすよう、長期休業中における課題として課し、カード等を活用して読書量の数値化を図る。

【社会】様々なメディアを通し、多様な意見や考え方を比較検討する機会を家庭でも取り入れるよう要請していく。

【算数】家庭における反復学習の日常化を図る。

【理科】身の回りにある小さな不思議を話題に上げるなど、理学的な視点や考え方をはぐくむ。